



2020年11月6日

各 位

会 社 名 K u d a n 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 C E O 項 大 雨
(コード番号 4425 東証マザーズ)
問 合 せ 先 取 締 役 C F O 飯 塚 健
(T E L . 0 3 - 4 4 0 5 - 1 3 2 5)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2020年5月8日に公表した2021年3月期（2020年4月1日～2021年3月31日）の連結業績予想を下記のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2021年3月期の連結業績予想値の修正

(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	465～675	—	—	—	—
今 回 修 正 予 想 (B)	100～160	—	—	—	—
増 減 額 (B - A)	△365 ～△515	—	—	—	
増 減 率 (%)	△78.5% ～△76.3%	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	456	9	△12	△29	△4.17

2. 修正の理由

当期においては、独ミュンヘン工科大学発ベンチャー企業 Artisense Corporation（本社：米国カリフォルニア州、以下、「アーティセンス社」といいます。）のグループ会社化に伴う SLAM エンジニアのグローバルにおける技術的な囲い込みや、製品化を視野に入れた注力領域における案件継続及び Lidar 等の今後自動運転領域での収益化が見込めるセンサ融合に関する案件増加など中長期的な成長に向けた事業開発を継続してまいりました。一方で、技術評価案件

など技術的なフィット（技術視点での顧客製品企画への適性とそれに伴う最終製品化の見込み）ないし注力領域の範囲外の案件継続の減少、新型コロナウイルス感染症の影響やアーティセンス社を中心とする一部研究開発スケジュールの遅延による案件の予算縮小・凍結や遅延が生じ、売上高は前回発表予想と比較して 365～515 百万円減少（△78.5～△76.3%）の 100～160 百万円を見込んでおります。

当社は、技術ラインナップの拡充及びエンジニアリソースの更なる拡充による研究開発の加速、並びにグローバルでの事業開発体制の強化によりこれらの課題に対応し、事業展開の加速を目指してまいります。

新型コロナウイルス感染症の拡大継続に伴い、足元では幅広い産業において開発の遅延等が生じているものの、一方で、人と人の交流や共同作業を要しない無人化の需要はあらゆる産業で急増しており、この傾向は中長期にわたって益々増大していくことが予測されています。当社は、これを事業機会と捉え、中長期における飛躍的な成長を目指すため、グローバルでの事業開発体制の拡大、注力垂直領域におけるプロダクト開発、並びに Deep Tech への投資を含む先行投資については引き続き積極的に実行してまいります。

※ 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理性があると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社グループとして約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により予測と大きく異なる可能性があります。

以上